

施策ごとのSDGsの選定理由一覧

目指す方向性	施策	対応するSDGs
安全	施策 1 水質管理のさらなる強化	  すべての人に健康と福祉を 安全な水とトイレを世界中に - 水質管理を強化して、 安心安全な水を提供するため その安心安全な水で人の健康を 守るため  住み続けられるまちづくりを - 水質管理が強化されれば、飲料水の 安全対策、安全性も高まるた め、人々にとっても、安心して住 み続けられるため  つかう責任 つくる責任 - つかう責任：水の効率的利用 （ムダや汚染を減らす） - つくる責任：取水してから給水す るまでの責任があること その一つに水質管理のさらなる 強化がある

強靱		9 産業と技術革新の基盤をつくろう 水道施設の耐震化によって水インフラが強靱化されれば、水を活用する産業発展が進み、技術基盤も強化される。
	施策2 水道施設の計画的耐震化と更新	11 住み続けられるまちづくりを - 災害に強いまちづくりに貢献するため 12 つかう責任 つくる責任 - つかう責任：耐震化・更新への理解 - つくる責任：過去に建設された施設を強化する責任がある
	施策3 危機管理体制の強化	11 住み続けられるまちづくりを 災害に強いまちづくりに貢献するため

持続	施策4 既存施設の適切な運用と長寿命化	 産業と技術革新の基盤をつくろう ・水道施設の長寿命化によって水インフラが強靱化されれば、水を活用する産業発展が進み、技術基盤も強される。  住み続けられるまちづくりを ・長寿命化され、持続可能な施設が運用されることで済み続けられる  つかう責任 つくる責任 ・つかう責任：長寿命化・更新への理解 ・つくる責任：過去に建設された施設を長寿命化する責任がある
	施策5 持続可能な経営の推進	 質の高い教育をみんなに ・内部・外部研修を実施する ・業務マニュアル化によるナレッジマネジメント  働きがいも経済成長も ・職員間での技術・知識共有の徹底により、働き甲斐のある職場が可能 ・広域連携、DX 等によっても経済成長が可能  住み続けられるまちづくりを ・持続可能な経営の推進により、持続可能な施設が運用されることで済み続けられる

※ナレッジマネジメント（知識管理）とは
個人の持つ知識やノウハウといった「ナレッジ」を組織全体で共有し、組織の生産性の向上や新規事業の開発などにつなげる経営手法

	施策6 情報提供の拡充と利用者の利便性の向上	 質の高い教育をみんなに ・内部・外部研修を実施する ・業務マニュアル化によるナレッジマネジメント  働きがいも経済成長も ・職員間での技術・知識共有の徹底により、働き甲斐のある職場が可能 ・広域連携、DX 等によっても経済成長が可能  住み続けられるまちづくりを ・持続可能な経営の推進により、持続可能な施設が運用されることで済み続けられる
	施策7 新たな手法の活用	 質の高い教育をみんなに ・内部・外部研修を実施する ・業務マニュアル化によるナレッジマネジメント  働きがいも経済成長も ・職員間での技術・知識共有の徹底により、働き甲斐のある職場が可能 ・広域連携、DX 等によっても経済成長が可能  住み続けられるまちづくりを ・新たな手法の活用により、持続可能な施設が運用されることで済み続けられる  気候変動に具体的な対策を ・GX により、温室効果ガス削減に貢献できる  パートナリーシップで目標を達成しよう ・官民連携によるパートナーシップ